

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.81

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 ****



2面

どんぐりの家

小美濃 千鶴子(おみの ちづこ)さん



3面

心のあかりを灯す会

鈴木 裕子(すずき ゆうこ)さん



つながるカレッジ ねりま

オンライン公開講座の 聴講生を募集します

つながるカレッジねりまは、
地域で活動を始めたいと思う
人が集い、学びやスキルアップ、
地域とのつながりができる場
です。本講座はZoomで公開
します。



「新たな福祉課題への対応(LGBTQ+)」

【日時】2月13日(火) 9時30分~11時40分

【内容】LGBTQ+(性的少数者)について基礎的な知識を学び
ます。「一部の特別な人」のことではなく、人間の尊厳
にかかわる人権の課題です。

【講師】永易 至文(NPO法人パープルハンズ事務局長)

【定員】30名(先着順)

【申込み】①講座名 ②氏名 ③電話 ④住所 ⑤メールアドレスを、2月7日(水)までにポータルサイト
(<https://www.collegenerima.jp>)・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ



【問い合わせ】地域文化部協働推進課カレッジ担当係

TEL: 03-5984-1613 E-mail: kyodosuishin04@city.nerima.tokyo.jp

地域の誰もが集える多世代交流の場

どんぐりの家



代表の小美濃 千鶴子さん(左から2人目)とスタッフの皆さん

土支田2丁目にある「どんぐりの家」は、誰もが気軽に集える多世代交流の場として、月2回の「こども食堂」と「おとな食堂」、週1回の「学習支援」を行っています。所有者の遺志により練馬区社会福祉協議会に遺贈された一軒家を、地域の民生委員や町会役員などで構成された運営委員会が借り受け、2015年10月に活動をスタートしました。

食堂はコロナ禍で一時休止して



学習支援では、5名のボランティアスタッフが子どもたちに勉強を教えています

いましたが、利用者の「早く再開してほしい」という声に応え、現在は月に2回、手作りのお弁当を販売しています。事前予約制で、大人は600円、高校生以下は200円。近所の農家から提供される野菜などの食材を無駄なく活かし、栄養はもちろん、彩りを工夫したお弁当は大好評！1日に約80個の予約が入るそうです。

「2023年7月からはお弁当を食べるスペースとして2階を開放していますが、皆が気軽に集えるようになるまで、もう少し時間がかかりそうです」と代表の小美濃さんは話します。

一方、毎週水曜は、不登校など様々な家庭事情を抱えた子どもたちの学習支援の場に。小学生から高校生まで約15名が通っています。最初に必



2023年8月に敷地内の駐車スペースで開催した「こども祭り」を楽しむ親子連れ

ず保護者と連絡を取り、苦手なことや克服したいことなどをしっかりヒアリングし、1人ひとりに寄り

添いながら学習をサポートしていきます。学習後に配布するお弁当は子どもたちのモチベーションになっているとのこと。

学習支援を担当するスタッフは「不登校だったお子さんが、ここを卒業して学校へ行くようになったという報告を聞くのが嬉しいですね。居場所が見つかれば、子どもたちは自分の力で世界を広げていけるんです」と話します。

“子どもたちは全員自分の孫”として温かく接するスタッフのおかげで、子どもたちにとって安心できる居場所となっているようです。昨年からは、こども祭りや、どんぐりの家祭りなどイベントも再開した「どんぐりの家」。多世代交流の場を共に盛り上げるボランティアスタッフも募集中です！

■ どんぐりの家

代表：小美濃 千鶴子
住所：土支田2-22-15
TEL：080-7019-2215
メール：dongurinoie.d@gmail.com

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■ 公益財団法人 洲崎福祉財団

「障害児・者に対する自立支援活動への一般助成」

【助成対象】障害児・者の自立と福祉向上を目的とした各種活動および障害児・者に対する自助・自立の支援事業

【助成金額】1件あたりの上限額

福祉車両・施設工事：300万円

一般車両・物品購入・その他：200万円

【応募期限】2024年2月17日

【関連URL】<http://www.swf.or.jp/>

【問い合わせ】公益財団法人 洲崎福祉財団 事務局
〒103-0022 中央区日本橋室町3-2-1 日本橋室町三井タワー15階
TEL：03-6870-2019(平日9時30分～16時)

FAX：03-6870-2119

■ 公益財団法人 こどもの未来創造基金

「児童養護施設等助成金」

【助成対象】児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設、児童自立支援施設、自立援助ホームなどの施設が、子どもたちの教育活動として実施する事業

【助成金額】1件あたりの上限額：100万円

【応募期限】2024年2月29日

【関連URL】<http://iffc.or.jp/requirements/>

【問い合わせ】公益財団法人 こどもの未来創造基金 事務局
〒150-0012 渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル3階
TEL：03-6456-4180 E-mail：info@iffc.or.jp

防災教育を通して命の大切さを伝えたい

心のあかりを灯す会



会長の鈴木 裕子さん(前列右)とメンバーの皆さん

練馬区の区民防災課と協働で、防災啓発活動を行っている「心のあかりを灯す会」。小学校や幼稚園、保育園では人形劇や紙芝居を使って子どもたちに命の大切さを伝え、災害時に役立つ料理教室や防災イベントを通して、区民の防災意識の向上を目指しています。

発足のきっかけは、2002年に練馬区と地域住民の協働で開催した防災イベント。当時PTAとして副実行委員長を務めた会長の



カセットコンロとポリ袋を使った「サバメシ」の料理教室

鈴木さんは、その後も区と協働で活動を継続していくために会を立ち上げました。

20数名いるメンバーのうち、鈴木さんを含む4名が阪神・淡路大震災の被災者。リアルな体験を通して、命を守るための術や備えの重要性を伝えています。その言葉には説得力があり、聴く人の心に響きます。この日は区内の小中学校からの依頼で、人形劇と紙芝居を使って身の守り方を伝えました。

「震災後の家や街の様子の写真を見せながら『私はここにいました』と話す、子どもたちの目が変わり、空気が一変するのがわかるんです。テレビの中のこと

ではなく、本当の世界の出来事だということを理解してほしいんです」と、鈴木さん。

また、大人向けの防災啓発活動も行っており、区とNPO法人楽膳倶楽部と心のあかりを灯す会の協働で、2014



毎年1月に開催している防災イベント「灯そう!心のあかり」

年に冊子「食と防災」を発行。災害時にライフラインが止まっても、カセットコンロやポリ袋を使

った、家にある材料で簡単に作れるレシピや備蓄の知識などが満載の1冊です。この冊子に載っているサバイバルレシピ“サ

バメシ”を作る教室も、区立施設や自治会などで定期的に開催し、大変好評のようです。

行政と区民組織が協働で20年以上も防災活動を続けている事例は全国でも稀とのこと。メンバーの皆さんにもお話を伺ってみると、「いざという時のために、自分の体験を伝えていくことがやりがい」、「活動を通じて、自分の命は自分で守るという覚悟を学んだ」と語ってくれました。

会員は随時募集中。自分自身や大切な人の命を守るために何ができるのか、一緒に考えてみませんか?

■心のあかりを灯す会

会長：鈴木 裕子

TEL：03-5984-2601

(練馬区危機管理室区民防災課)

メール：KUMINBOUSAI@

city.nerima.tokyo.jp



■公益財団法人 木口福祉財団「地域福祉振興助成」

【助成対象】障がい者等を支援する福祉活動、ボランティア活動に取り組む団体・グループが行う次のいずれかの事業。イベントや講習会等の企画開催/改修工事等/物品購入/車両の購入

【助成金額】1件あたりの上限額

企画開催・工事、物品購入：100万円

車両購入：200万円

【応募期限】2024年2月29日

【関連URL】<https://josei.kiguchi.or.jp/>

【問い合わせ】公益財団法人 木口福祉財団

〒659-0051 兵庫県芦屋市呉川町14-10

TEL：0797-21-5150(平日9時30分～17時)

E-mail：josei@kiguchi.or.jp

■公益財団法人 ノエビアグリーン財団「助成事業(団体)」

【助成対象】児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体が行う、次の分野に当てはまる事業 スポーツ体験活動/ジュニアアスリート選手育成活動/自然体験活動/科学体験活動/地域に根差した子どもたちへの支援活動/障がいのある子どもたちへの支援活動/自然災害等による被災地の子どもたちへの支援活動/児童養護施設の子どもたちへの支援活動/その他の体験活動

【助成金額】1件あたりの上限額：300万円

【応募期限】2024年2月29日

【関連URL】<https://www.noevirgreen.or.jp/grants/>

【問い合わせ】公益財団法人 ノエビアグリーン財団 事務局

TEL：03-5568-3388(平日9時～17時30分)

E-mail：info@noevirgreen.or.jp

区民協働交流センター(つながる窓口)を活用しませんか?



区民協働交流センター(つながる窓口)では、様々な取り組みを通じて皆様の地域活動を応援しています! ぜひご利用ください!

施設のご案内

多目的室(2部屋)

※要予約・有料

会議や活動スペースとして利用できます。2部屋の間仕切りを開けて1部屋としても利用可能です。



作業コーナー

※予約不要・一部有料

チラシやポスター、資料の印刷、丁合ができるコーナーです。作業に役立つ機器も利用できます。

設置機器:複写機(白黒)、印刷機(白黒)、紙折り機、裁断機
拡大複写機(カラー)、大型穴あけパンチ、大型ホチキス

交流コーナー

※予約不要・無料

長机と椅子があり、簡単な打ち合わせや話し合いに利用できます。



情報コーナー

※予約不要・無料

地域で活動する団体の皆様が作成したチラシ(A4判以下)の配架や、ポスター(A2判以下)の掲示ができます。



喫茶・軽食コーナー

社会福祉法人章佑会「やすらぎ夢工房」がコーヒー等の飲み物や軽食を販売しています。

● 営業時間/10時~16時(日曜日定休)



団体登録のご案内

町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体など、練馬区内で公益的な活動を行う団体は、区民協働交流センターの団体登録ができます。団体登録をすると、以下のようなメリットがあります。ぜひご検討ください!

※団体登録には一部要件があります。

●もしもの時の…

地域活動保険に加入できます!

地域活動団体の皆様が安心して活動できるよう、活動中の思わぬ事故を対象とした保険です。



●団体のPRになります!

区民協働交流センター窓口や「つながるカレッジねりま」のポータルサイト等に団体情報を掲載することができます。



つながるカレッジねりまポータルサイト

●ロッカー兼メールボックスを利用できます!

団体内の情報交換や資料の保管等に活用できます。



●多目的室の利用について、6か月前から申込みができます。(通常は前月~2か月前)

●作業コーナーの利用について、予約ができます。(通常は予約不可)

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



<https://www.facebook.com/Nerimakyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時(12/29~1/3は休業)
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL:03-3577-5666